

通級による指導

～ 初任者研～

愛媛県教育研究協議会
特別支援教育委員会事務局 研修部

研修内容

通級指導教室の年間イメージ

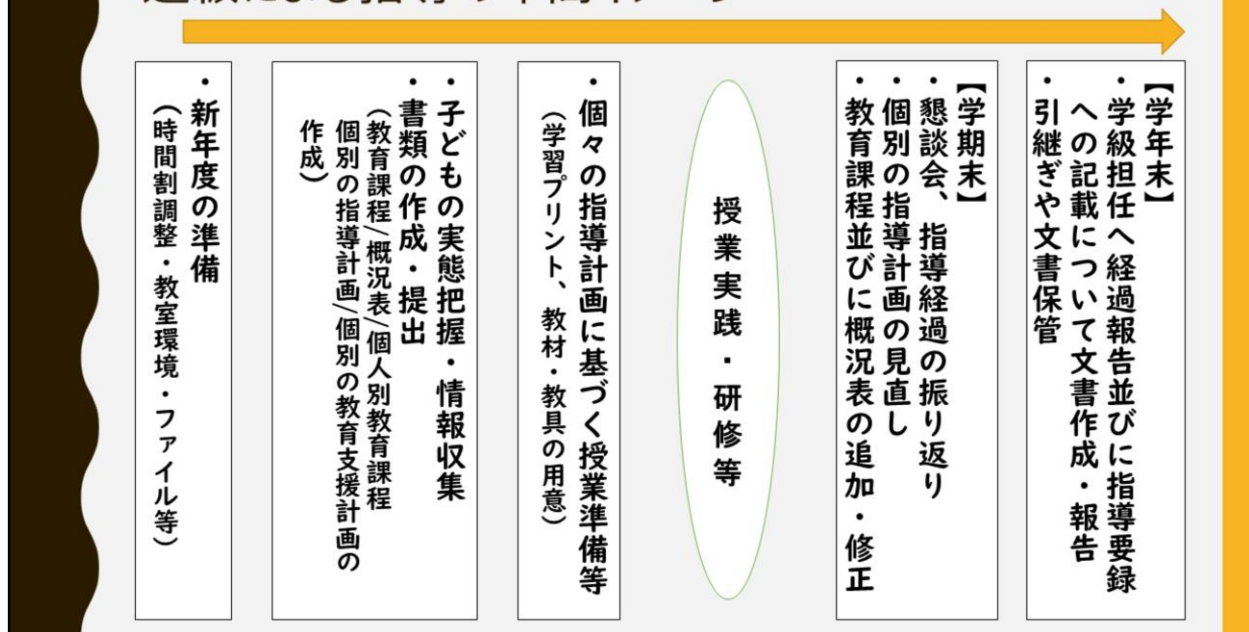
通級指導教室の担当者として

通級による指導における「自立活動」

通級による指導の指導内容

初めて通級を担当される先生方に、今回は大きく4点のことをお伝えしようと思います。これからのスライド資料は、通級の1年間の見通しや、個々の「指導目標」や「指導内容」をどのように組み立てていくかなどが何となくイメージできてほしいなと思い、作成いたしました。

通級による指導の年間イメージ



まずはじめは、通級の年間を通しての流れです。

資料のような流れで、子どもの実態をしっかりと把握し、個々の指導計画を作成していきます。

目標や内容が決まれば、個々にあった教材や教具を用意します。

「個々の特性」や「理解度」「習得具合」「集中力」等に合わせて、内容や教材、量や質を調整しながら授業実践を積み重ねていきます。

学期末には、子どもの変容や指導の経過を振り返り、懇談会等で保護者や学級担任に評価を返していきます。

通級指導教室の担当者として

- 通級での指導は、個々の障がいの状態に応じた「自立活動」の指導を通じて、学習場面や生活場面で生じる困難を改善・克服すること



まずは、『**的確な実態把握**』に努めること

- 本人や保護者からの聞き取り（興味・関心、生活習慣等）
- 学級担任からの聞き取り（対人関係、社会性等）
- 本人の困難さとその背景、長所、これまでの支援や対応等の整理
- 関係機関（医療・福祉・療育等）の情報整理
- 学級での様子を参観 など

子どもの成長や
発達段階に応じて見直し

通級の指導は、個別の指導を主としていることから、個々の実態を的確に把握することがもっとも重要になります。

多くの情報を得ながら、それらを整理し、子どもの成長や発達段階に応じて、定期的に見直していくことで「的確さ」は増していきます。

通級による指導における「自立活動」って？

『個々の児童又は生徒が**自立を目指し**、障害による学習上または生活上の困難を**主体的に改善・克服**するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって**心身の調和的発達の基盤を培う。**』

自立活動の目標（小学部・中学部学習指導要領第7章第1）

つまり



- 児童生徒の実態に応じ、日常生活や学習場面等の諸活動において、その障がいによって生ずる**つまずきや困難を軽減する。**
- **児童生徒が障がいがあることを受容したり**、つまずきや困難の解消のために**努めたりする。**
- 一人一人の児童生徒の**発達の遅れや不均衡を改善したり**、**発達の進んでいる側面を更に伸ばすこと**によって遅れている側面の**発達を促す。**

通級による指導は、教育課程上の「自立活動」の時間にあたります。
「自立活動」については、特別支援学校教育要領・学習指導要領解説「自立活動編」を参考にしてください。

自立活動の内容（例）

◆実態把握						
実 態	○					
本人の思い						
保護者の思い						
◆指導目標を達成するために必要な項目の選定						通級で指導する項目
自立活動の内容	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
	生活のリズムや生活習慣の形成	情緒の安定	他者とかかわりの基礎	保有する感覚の活用	姿勢と運動・動作の基本的技能	コミュニケーションの基礎的能力
	病気の状態の理解と生活管理	状況の理解と変化への対応	他者の意図や感情の理解	感覚や認知の特性への理解と対応	姿勢保持と動作の補助的手段の活用	言語の受容と表出
	身体各部の状態の理解と管理	障がいによる困難を改善・克服する意欲	自己の理解と行動の調整	感覚の補助及び代行手段の活用	日常生活に必要な基本動作	言語の形成と活用
	障がいの理解と生活環境の調整		集団への参加の基礎	周囲の状況把握と状況に応じた行動	身体の移動能力	コミュニケーション手段の選択と活用
	健康状態の維持・改善			認知や行動の手掛りとなる概念形成	作業に必要な動作と円滑な遂行	状況に応じたコミュニケーション
◆指導目標の設定						
通級による指導で指導すべき目標						
◆具体的な指導内容の設定						

実態や本人、保護者の思い等をもとにして自立活動の内容を整理する。

在籍学級で指導できる項目、通級で指導する項目を色分けし、自立活動の内容を整理する。

自立活動の内容等から通級による指導で指導すべき目標を定める。

愛媛県教育委員会特別支援教育課からは、資料のような「個別の指導計画」の様式が示されています。

自立活動の目標（例）

【言語面での自立活動】

長期目標：「呼気が鼻に抜けないように、明瞭に発音することができる」

短期目標：「呼気の出し方や舌の位置に気をつけてK音の音づくりができる」

【コミュニケーション面での自立活動】

長期目標

「場面に応じて、適切な会話ができる」

「相手の気持ちを考えながら、自分の考えを相手に伝えることができる」

短期目標

「断り方によって相手の受け取る印象が変わることを知り、よりよい伝え方を身に付けることができる」

自立活動の目標は、長期目標と短期目標を定め、ステップバイステップで個々の障がいの改善等を目指します。

目標は、「指導の終了」にもつながってきますので、見通しをもって設定する必要があります。

個々の障がいの状態にもよりますが、おおむね3年以内をめどに終了できるように目標を定めるとよいかと思えます。

自立活動の指導内容（例）

【言語面での指導内容例】

聞き分け練習、口の体操、口の形づくり、舌の操作性を高める練習、
構音点の確認、発音練習 など

【コミュニケーション面での指導内容例】

具体的な場面を想定したソーシャルスキルトレーニング
相手の表情の読み取り学習、相手に応じた言葉の使い方学習 など

【学習面での指導内容例】

なぞり書き、点つなぎ、ビジョントレーニング
加減の筆算のやり方、時計の読み方、九九の定着 など

指導内容は、まずは、先輩方に「基本の指導内容」を尋ねて、「基本の指導内容」を真似て取り組むことがよいかと思います。

「基本の指導内容」と言うのがポイントです。

言語面で言うと、聞き分け練習や口の体操、口の形づくり、舌の運動を正しくできるようになれば、いつの間にか改善されてきます。

ぜひ、先輩方から、正しい練習の仕方を学んで欲しいと思います。

担当と子どもとの**信頼関係**

～マンツーマンゆえに、ラポールが大事～

担当も 子どもも **楽しく学習**できる工夫

～興味関心を生かした教材づくりが大事～

遊びも指導

～「目的」をもった遊びが大事～

学級担任との普段からのコミュニケーション

～先生何か困ってない？の一言が大事～

保護者とのコミュニケーション、相談

～おうちでは最近どんなですかあの一言が大事～

これが
『大事!!』

私なりに、これまでの経験上「大事だなあ」と感じたことを挙げてみました。
通級指導は、まさに「オーダーメイド！」！個に応じた指導や教材がチョイスできるようにた
くさんの引き出しが必要になります。

通級のこと 困ったときは

お困りの際は、通級連絡名簿を御活用ください！
一人で悩まず、近隣地域や県下の通級の先生に相談！

愛教研の通級担当者会（年2回）の3つの「あい」
担当者同士の

『学び合い』 『助け合い』 『相談し合い』

これからも、子どもたちのために
ともに がんばっていきましょい！！

「引き出し」は、研修等で学んでいくだけでなく、先輩の先生方の授業を参観したり、相談したりすることで学ぶことも大事です。



私への質問・相談は
下記の連絡先まで
～悩むより聞くが一番～

松山市立石井東小学校：藤枝靖人
☎089-957-7545

一緒にすばらしい一年を送りましょう。

何か、お悩みのことや、ご不明なことがございましたら、遠慮なさらずにご連絡いただけたら
と思います。
通級に通う子供たちのために、「ともに」助け合っていきましょう！

参考資料

- 特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編 (文部科学省)
- 特別支援学校・通級による指導ガイドブック (愛媛県教育委員会) 平成22年3月
- 「チーム学校」として取り組むための通級による指導ガイドブック (愛媛県教育委員会)
- 特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援 (愛媛県教育委員会) 令和2年3月
- 学習評価及び指導要録の改善等に関する指導資料 (愛媛県教育委員会)
(記載ページP45、P46、P55、P81、P89、P95)
- 改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引 ~解説とQ&A~ (海文堂)
- 「特別支援学級」と「通級による指導」ハンドブック (東洋館出版社) 令和2年7月